

『東伊豆町のこども達の未来を拓く教育環境整備の方向性について』に対するご意見と、そのご意見に対する町の考え方

No	パブリックコメントでいただいたご意見(要約)	町の考え方
1	熱川中への統合賛成。 より良い教育と未来の子どもたちのために。	未来の子どもたちのために、より良い教育環境を整えられるよう引き続き検討し進めていきます。
2	電車を使用せず、スクールバスを利用が良いと思う。 電車利用の場合、電車の本数も少なく、朝の込み合う時間帯に集中して危険。 低学年は乗り遅れる場合もある。乗り遅れた場合の対応等問題点が多い。	現在、電車を使用する計画ですが、駅周辺の整備や乗り遅れた場合の対処等なども含め、検討していきます。
3	今いる子どもたちに還元できる魅力的な教育を素早く実現してもらいたい。 これまで環境整備委員会で述べられてきたことが全然進んでいない。 下田市の統合委員会のように進める必要があると感じる。	今後は教員等を含めた下田市のような統合委員会を立ち上げ、スピード感を持って統合を進めていきます。

4	熱川中学校が統合先となることの理由が薄い。 築年数の差もさほどなく、稲取地区の方が児童・生徒数が多い。 稲取保育園だけ残してあとは熱川地区へ移すのはとんでもない。 稲取地区は通学の変化も大きな負担となり、事故、渋滞の心配、バスの時間に左右されることがストレスに値する。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 また、通学方法についても不安要素を1つずつ解消できるようにしっかり検討していきます。
5	幼小中高の一貫性のある教育について期待。 単なる通う場所ではなく、縦のつながり、地域とのつながりを期待している。 統合によって児童・生徒数が増えても、これまで通り丁寧な支援をお願いしたい。 稲取高校との連携も強化し、Uターン就職への意識付けなどにつながる教育も取り組んで欲しい。	まずは幼小中についての統合をしっかり進めていきます。 また、県とも引き続き協議を進め、稲取高校についても何らかの形で連携していけるよう検討していきます。
6	稲取からすべての学校をなくすことに反対。 小学校、中学校同じ建物を共有することはできないのか。 稲取高校は他に類を見ない立地にある高校である。ほかの使い道、リゾートとしての使い方等もあると思うので、どう選択するのか町民の声を聞き熟慮して欲しい。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 稲取高校については県の施設となるため、県と協議をして進めていきます。
7	小学校は熱川、中学校は稲取にした方がよい。どちらかが寂れてもしょうがない。 図書館に行く人は少ない。ネットでも調べられるし、スマホで本も読める。 図書館を維持する費用も掛かるので、学校内に図書館を作ればよいと思う。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えていますが、その前に段階的・部分的な統合についても検討していきます。 また、学校統合後の図書館との連携についても併せて検討していかなければいけないと考えています。

8	小学校段階では、稲取小を存続して欲しい。 子供の育ちの中で、地域の中で育つのは非常に大切。 自然環境・歴史環境を生かし体験重視するには少人数にメリットがある。 学校があることは、新たな移住の選択肢にもなる。 熱川小と稲取小で交流を深め、中学で一緒になり、それを節目として新たな学習をしていくのはどうか。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えていますが、その前に段階的・部分的な統合についても検討していきます。
9	職業柄いろいろな人から話を聞くと、皆口をそろえて言うのは、一刻も早く統合をして欲しいということ。 最短で8年ということも分かるが、その間も子供たちは東伊豆で育っているのもう少しスピード感を持って進めて欲しい。 また、説明会に行きたくても、時間帯によっては行けない人も多いので、今後も定期的な意見の吸い上げの場を設けて欲しい。	今後も状況に応じて住民説明会や意見募集を行い、スピード感を持って統合を進めていきます。
10	地震や津波などの自然災害の避難場所になると思うので、それらに強い建物や場所に建てるべき。 新しく校舎を建てるのであれば将来のことも見据えて、熱川中学校だけでなく、小中一貫の校舎を建てて欲しい。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 施設についても一貫性を持った教育を進める中で最適な形を検討し、災害に強い建物を導入したいと考えています。
11	統合の検討に時間をかけすぎ。 統合さえ決めてしまったらすぐに動き、細かいことは統合後に改善していけば良い。時間がかかるなら町民にその理由を説明するべき。 子供の成長を考えるのであれば、多様なクラスメイト、先輩、後輩がいる環境が良い。部活の選択肢もさらになくなる。 多様な意見は大事だが、全員が納得する答えはないので、聞きすぎることなく素早く決断し実行して欲しい。	統合する前に決定や準備しなければいけない事が多く、どうしても時間がかかってしまいます。 今後も状況に応じて住民説明会や、意見募集等を行いつつ、スピーディーに統合を進めていきます。

12	稲取住民にとってデメリットしかない。 徒歩で通えていた学校に、電車とバスを利用することで時間に縛られ不自由さを感じる。 図書館との連携は年に数回のことなので、それは理由にならない。 子どもたちのためにお金を惜しまないというなら、それぞれの学校を新しくして欲しい。 子どもたち、子供を育てる親の意見を無視しないで欲しい。	町内4校すべて建て替えるとなると、財政的に難しい状況です。 敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えており、1校にまとめて、より良い施設の整備を検討していきます。
13	子どもが少ないなのは、子供がいる親に対してしっかりと金銭面、育児面で町が助けようとしていないから。 小中一貫にするのはいいが、なぜ人数が多い稲取が熱川へ行かなければならないのか。山奥にある熱川中が妥当な理由は何か。 スクールバスを何本も出す気はあるのか。親の負担は増えるのか。体育館は冷暖房完備になるのか。 これから子育てしていく世代にもしっかり伝わるように、だいたいでなく細かなところまでしっかり話して欲しい。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 通学方法についてはより良い方法を引き続き検討していくとともに、保護者の負担は増えることがないように考えています。 また、今後も状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
14	少子化が進んでいるから1つにまとめるというほど、教育はそんな簡単なものではない。そんなことで片づけて欲しくない。 稲取と熱川それぞれで小中一貫ではダメなのか。 町の財政難もわかるが、親と子供たちの負担はもっと大きく、子供たちのことを思うなら考え直して欲しい。	少子化が進んでいる状況で、子どもたちにより良い教育環境をと考え、敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいとしていますが、その前に段階的・部分的な統合についても検討していきます。
15	広報を確認し、熱川中の活用と、片瀬白田駅の利用についてとても良いと思った。 道路整備にも賛成する。草木で道が狭くなっていたり、道がボコボコなのがよくなれば良い。 さかいまつ付近の歩行看板がボロボロなので目立つようにして欲しい。	引き続きより良い方法を検討し進めていくとともに、道路については建設整備課とも連携し整備を進めていきます。

16	稲取駅まで徒歩で向かう家庭、車で送っていく家庭それぞれあると思う。他にも電車で通勤通学する人たちがいるので、駅前を走る車の交通量を考えるととても危険。 直接片瀬白田駅や学校に送る家庭もあると思うが、そうすると片瀬白田駅や学校が混雑する。 通学バスは停車許可が取れても、一般車両は取れない。帰りの時間にも同じことが起きる。町はそこまで責任取れないのに勝手すぎる。	稲取駅周辺の環境整備も含めて、安全な通学方法を検討して進めていきます。
17	整備委員会の答申である熱川中への統合に不安を感じる。 小学校・中学校は町場にあるのが良い。町の中で多くの人が住み、仕事をし、遊び楽しみ、子供を育て老人をケアする場、そういう中で教育を行うべき。 熱川中の周りにはそういう環境がなく、今後もっと寂れていくと思うので、稲取の小学校が最適であると思う。 お金や耐用年数、広さなどを中心に判断するのは心配。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。
18	熱川中学校以外の跡地と施設などのその後の利用、活用の案も提案するべき。町から提案して欲しい。	例えば稲取地区に空いた校舎が発生した場合、現在の役場の建っているエリアは津波浸水エリアで、津波が来ると庁舎の電源が喪失される可能性があるので、現在の役場の移転先として空いた校舎を活用する可能性があります。 また、他にも空いた校舎はワーケーションの拠点にしたり、移住者やホテル・旅館の従業員等が集まったり、集合住宅的な活用もできるのではないかと考えています。 いずれにしても空いた校舎は利活用したいと考えており、今よりも人が集うエリアになることを期待し、今後も検討していきます。
19	稲取から学校がなくなるのは反対。 稲取小・中は伝統ある学校であり、駅やスーパー等生活の便もよく、町の中心、地域にも接しているので子供たちの見守りにおいても安心安全。 稲取から熱川への通学も保護者の立場でもかなりの負担になるので、稲取小・中は継続するべき。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 また、通学における保護者の負担が増えることが無いような方法も検討していきます。

20	熱川中に統合すると、学校から最寄り駅まで徒歩では困難な距離であり、部活や居残りでスクールバスの運行時間から外れて登下校しなければならない場合厳しい。また日没等早い場合、そのような距離・場所を歩かせるのは危険。 稲取地区の生徒の移動距離がもっとも長くなり、エネルギーと時間のロスとなる。 幼稚園から高校までをまとめるにあたって、小学校と高校では色々な物の規格も異なるので、例えば稲小を幼・小、稲中を中・高とするなど柔軟な考え方を取り入れていくべき。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えており、通学方法についてもより良い方法を引き続き検討していきます。 また、幼小中高と一貫性を持った教育を進めていく中で、今後も状況に応じて住民説明会や意見募集を実施し、柔軟な考え方を取り入れ進めていきたいと思っています。
21	学校環境整備委員会とは何か。 熱川中学校より稲取小学校の方が利便性がよく、補強改修工事をすれば問題ない。 稲取から学校が無くなれば、稲取が衰退するのが目に見えている。 再考を願う。	学校環境整備委員会は学校教育の環境整備に関した事項について調査審議し、その結果を教育委員会に報告することを目的とした委員会です。 少子化が進む中でこれからの東伊豆町の教育環境について検討を進めました。委員には小中学校長、PTA代表、住民代表として区長、その他学識経験者の方などが含まれています。 その中で、敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいという答申が出され、町としてもそれが適当と考えています。
22	学校環境整備委員会が信用できず、この少数の人たちのために、子どもたちの行く末が大変な目に合わないか心配である。 多くの人に意見を聞くべきだ。	町としては学校環境整備委員会から出された答申を尊重しつつ、今後も状況に応じて住民説明会や意見募集を実施し、より多くの町民の意見を取り入れながら、慎重かつスピード感を持って進めていきます。
23	なぜ熱川方面に力を入れるのか。 稲取は人口密集地であり、当然学校も稲取だ。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区のこども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区のこども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。

24	なぜ熱川へ学校を持って行こうとするのか、ここに対して不信感がある。 稲取がダメになってしまいます。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
25	熱川はダメだ。 しっかりして欲しい。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
26	なぜ熱川にしなければならないのか。 稲取の方が子どもたちにとっても交通面、安全面も良いと思う。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
27	稲取にすべての学校を残すこと。 こんなに交通の便が良いところはない。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。

28	稲取の子どもたちが気の毒だ。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
29	東伊豆町の中心地は稲取だ。 片瀬白田はコンパクトシティにならない。 学校は稲取にあるものだ。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
30	学校は稲取にあるべき。 もっと町民の声を聞くべき。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
31	人口減少の中、熱川地区の山奥に学校を持って行くのはおかしい。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。

32	なぜ熱川なんだ。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
33	なぜ熱川にこだわるのかおかしいと思う。 稲取は大事なところだ。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
34	稲取をダメにするのか。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
35	統合は良いが、全体統合では交通の便等を考えると熱川ではだめだ。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区の子ども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区の子ども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由に行きかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。

36	親の意見だけで決めてしまったら、子どもたちが可哀そう。 過疎化が進んでいる熱川地区の中学校に行くのか理解できない。 地盤も悪いと聞くので、学校を建てることができるのか。 稲取の人の意見を聞いて行くことが大事だ。 稲取の子どもたちが可哀そう。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区のこども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区のこども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由にいきかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
37	まだ何も決まっていはいないはずだが、どうしても熱川に持って行きたいように見える。 白田は地震が一番怖く、危険。 稲取の子ども達が可哀そうだ。 稲取から電車で片瀬白田駅に行くのは時間の無駄だし、無人駅のため何が起こるかわからない。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 人口減少が進む中、東伊豆町の活力を保つためには、一人ひとりの移動できる量を増やすことが重要と考え、町の中を移動しやすいまちづくりを目指します。 例えば稲取地区のこども達が自由に図書館に行くことができ、城東地区のこども達が自由によりみち135に行くことができる。稲取地区、城東地区といった二者択一の考え方ではなく、オール東伊豆の視点で町の中を自由にいきかい、活力ある町を目指します。 引き続き、通学方法や災害時の対応なども検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
38	学校教育環境整備委員会が推し進める計画のプロセス等に違法性あり。 学校教育環境整備委員の選出は、いつ・誰が・どのような基準で行ったのか。 委員選出のプロセスにおいて、利害関係者の有無の判別や除外、違法性の排除等を担保するための委員選出方法としてどのような策を講じたのか。 法的並びに道徳的正義に基づいた学校教育環境整備委員会の委員選出と委員会の発足からやり直さなければならない責任が発生していると考え。	学校環境整備委員会は学校教育の環境整備に関した事項について調査審議し、その結果を教育委員会に報告することを目的とした委員会です。 少子化が進む中でこれからの東伊豆町の教育環境について検討を進めました。委員には小中学校長、PTA代表、住民代表として区長、その他学識経験者の方などが含まれています。 その中で、敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいという答申が出され、町としてもそれが適当と考えています。
39	なぜ、どうして、交通の便が悪く徒歩圏内でない熱川中という案が出ているのか。誰がどういう経緯でそうなったのか。 利便性が悪くコストがかかる。人口が減少する中で広い敷地は必要ない。 図書館も交通の便が悪く、利用する人が限られている。 行事があっても不便なところには人は集まらない。 稲取は利便性が良くコストを抑えられる。 住民、子供、保護者の立場に立って考えて欲しい。	学校環境整備委員会は学校教育の環境整備に関した事項について調査審議し、その結果を教育委員会に報告することを目的とした委員会です。 少子化が進む中でこれからの東伊豆町の教育環境について検討を進めました。委員には小中学校長、PTA代表、住民代表として区長、その他学識経験者の方などが含まれています。 その中で、敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいという答申が出され、町としてもそれが適当と考えています。

40	今回の説明会では、町内の児童・生徒数の減少、各学校の耐用年数、答申を受けて熱川中への一貫校整備計画が説明されただけで残念な内容だった。 以前の説明会で語られた東伊豆町の新しい教育スタイルについて具体的な説明を示して欲しかった。「幼・小・中・高における教育を1つのエリアで一貫性を持たせて行うまったく新しい教育スタイル」などの他の地域にみることがない独自の教育方針を示して欲しい。このようなビジョンやグランドデザインなどが示され、これに基づいて東伊豆町の教育環境整備について議論を深めていくことが「東伊豆町の子ども達の未来を拓く」ことにつながると信じている。	今後も、「幼・小・中・高における教育を1つのエリアで一貫性を持たせて行うまったく新しい教育スタイル」として、他にはない東伊豆町独自の教育方針を検討していきます。
41	子供は歩いて通える近くの学校に行きたいと思う。 大人も子供が近くで勉強している方が安心する。 稲取の子が稲取の学校に通う未来を拓くことができないのか。 もし熱川に統合されて、大きな地震が起き道路が寸断されたら大変なことになると思う。 稲取の現校舎の存続を願う。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 通学方法や災害時の対応なども引き続きしっかり検討していきます。
42	なぜ稲取人の宝である学校をなぜ熱川に移転するのか。 なぜ稲取から熱川に通わせるのかわからない。 一番心配なのは子ども達の安全。 町民の声をもっと聞いてほしい。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 子ども達の安全面についても引き続きしっかり検討していき、状況に応じて住民説明会や意見募集を行っていきます。
43	スクールバスに乗り遅れたり、帰りが遅くなった時の長い道のりの登下校が心配。 稲高周辺を整備すれば統合にふさわしい面積を確保できる。 熱川中よりも交通の便や環境が良く、子ども達、保護者にとっても安心安全。 今回の統合問題は稲取にとっては一大事であり、学校は稲取にあるべきである。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 稲取高校については引き続き県との協議を続けていきます。 また、通学方法についても引き続きより良い方法を検討していきます。

44	熱川中は交通の便が悪く、通学するのに徒歩では時間がかかり、車での通学も道が狭く大変な状況であるのに、なぜそこに学校を持って行くのか意義を唱える。なぜ、人口減少が急激に進んでいる熱川地区なのか。 片瀬白田駅は地震が起きたら一番危険。 稲取高校の場所は稲取保育園が上にあるので良いという人もいる。	敷地の状況や位置と通学環境等を総合的に勘案し、現在の熱川中学校とすることが望ましいと考えています。 通学方法や災害時の対応なども引き続きしっかり検討していきます。
----	---	---